

令和9年度

奈良県立医科大学大学院
看護学研究科（博士前期課程）

【看護学専攻】

学 生 募 集 要 項

出願資格審査 申請期間	(一次) 令和8年6月18日(木)～6月23日(火) (二次) 令和8年9月24日(木)～9月30日(水)
出願期間	(一次) 令和8年7月16日(木)～7月23日(木) (二次) 令和8年10月16日(金)～10月22日(木)
試験日	(一次) 令和8年8月24日(月) (二次) 令和8年12月1日(火)

※一次募集の結果によって、二次募集を実施しない場合があります。

奈良県立医科大学大学院看護学研究科

看護学研究科博士前期課程の理念

奈良県立医科大学は、「豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指す」という教育理念のもとに、教育・研究を展開し地域社会に貢献してきた。医学部看護学科は、その理念を受けて、その人らしい生き方を支える看護のあり方を追求し、地域社会との連携のもとに、人間と健康に関わる問題を多面的な視野から解決できる看護実践の中核的な役割を果たす人材を育成することを目的としている。

本研究科博士前期課程では、この理念を基盤に、豊かな感性・人間性と高度専門職業人としての倫理観を備え、高度化・専門分化および多様化していく医療に要求される知識や技術を的確に習得・発展させながら、実践科学としての看護学を探究する高度な実践能力と基礎的な研究能力を有する看護職者の育成をめざす。

看護学研究科博士前期課程アドミッションポリシー

本研究科博士前期課程では、高度な実践能力と基礎的な研究能力を有する看護職者を養成するため、次のような資質を持った人を求めています。

- 1 人間に対する深い関心と生命倫理や医療倫理を身につけている人
- 2 専攻分野における基礎知識を身につけている人
- 3 自ら進んで課題に取り組む意欲と探究心がある人
- 4 看護学の教育、研究、実践の分野で地域社会に貢献する意志があり、看護学関連分野を学習してきた人

【目 次】

1	専攻課程及び募集人員	1 頁
2	出願資格	1～2 頁
3	出願期間	2 頁
4	出願先	3 頁
5	出願手続	3～5 頁
6	入学者選抜方法	5 頁
7	合格者発表	6 頁
8	入試結果の開示	6 頁
9	入学手続	7 頁
10	入学料	7 頁
11	授業料	7 頁
12	取得できる資格	7 頁
13	長期履修制度	7～8 頁
14	入学料免除制度	8 頁
15	研究指導教員との事前相談	8～9 頁
16	その他	9 頁
	専門領域の研究概要	10～12 頁
	参考 教育課程等の概要	13～15 頁

1. 専攻課程及び募集人員

専攻	コース		専門	募集人員
看護学	看護学コース	論文コース	【領域】 健康科学 薬理と看護学 実践基礎看護学 看護実践応用学 成人慢性期・がん看護学 高齢者看護学 小児看護学 精神看護学 公衆衛生看護学 在宅看護学 女性健康・助産学	5名
		高度実践コース	高度実践看護師教育課程 (クリティカルケア看護分野、がん看護分野) 周麻酔期看護師教育課程	
	助産学実践コース		【領域】 女性健康・助産学	5名

(注) (1) 募集人員に社会人を含む。

社会人とは、医療・保健・福祉施設、教育・研究機関、企業、官公庁等において、令和9年3月31日までに概ね1年以上の実務経験を有する者をいう。

なお、論文コース及び高度実践コース(周麻酔期看護師教育課程)については、入学後も引き続きその身分を有することができる。

ただし、高度実践コースの高度実践看護師教育課程(クリティカルケア看護分野、がん看護分野)及び助産学実践コースについては、修業中は学業に専念できる者とする。

(2) 上記社会人には、標準修業年限(2年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修できる長期履修制度(3年)を設けている。ただし、助産学実践コースについては、適用しない。

※ P7「長期履修制度」参照のこと。

(3) 専門領域の担当教員との相談を**必ず**事前に行うこと。

① 出願に際しては、募集人員及び研究内容について、予め志望する専攻領域(学位論文作成の基本となる領域)の研究指導教員に問い合わせしておくこと。

※ P8「研究指導教員との事前相談」 P10「専門領域の研究概要」参照のこと。

② 社会人については、事前に履修計画について相談のこと。

(4) 一次募集の結果によって、二次募集を実施しない場合がある。

実施の有無については、9月中旬以降にホームページ等で確認すること。

2. 出願資格

次の(1)~(9)のいずれかに該当する者で、看護師、保健師、助産師いずれかの免許を取得した者又は取得見込みの者。ただし、大学院合格後であっても看護師国家試験に不合格となった場合は大学院の合格を取り消すものとする。

(1) 大学を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者

(2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は令和9年3月までに授与される見込みの者

(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和9年3月までに修了見込みの者

- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 9 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 9 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和 9 年 3 月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (8) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院が認める者
- (9) 次の①から③の全てに該当する者又は令和 9 年 3 月までに該当する見込みの者で本学大学院看護学研究科修士課程に出願資格認定申請を行い、出願資格を認定された者
- ① 3 年課程若しくは 2 年課程の看護師学校養成所（短期大学、専修学校、高等学校専攻科、各種学校）又は高等学校の 5 年一貫看護師課程を卒業し、看護師免許を取得した者
- ② 看護職として通算 3 年以上の実務経験を有する者
- ③ 次のいずれかに該当する者
- ア 看護に関する 6 か月以上の研修（厚生労働省専任教員養成講習会等）を修了した者
- イ 保健師、助産師、認定看護師等の看護に関する専門的な資格又は経験を有する者
- ウ・3 年課程の看護師学校養成所（短期大学、専修学校、各種学校）卒業者：
看護系学術誌・雑誌・学会・研究会などへの共著を含む研究発表が 1 編以上ある者
・2 年課程の看護師学校養成所（短期大学、専修学校、高等学校専攻科、各種学校）又は高等学校の 5 年一貫看護師課程卒業者：
看護系学術誌・雑誌・学会・研究会などへの研究発表が 2 編以上ある者
そのうち 1 編以上は筆頭著者であること。
- (注) 上記(8)又は(9)により出願する者は本学所定様式の申請書に必要事項を記入の上、申請期間に本学へ提出すること。（P4 出願資格の認定参照）
- (注) 上記(9)③アの研修について不明点がある場合は、出願前に問い合わせること。

3. 出願期間

<p>(一次) 令和 8 年 7 月 16 日 (木) ~ 7 月 23 日 (木)</p> <p>(二次) 令和 8 年 10 月 16 日 (金) ~ 10 月 22 日 (木)</p>

持参の場合は、平日の 9 時から 17 時までとする。

郵送の場合は、封筒表面に「**大学院看護学研究科博士前期課程入学願書在中**」と朱書き明記の上、期間内に**書留郵便で大学必着**のこと。

4. 出願先 〒 634-8524 奈良県橿原市四条町 88 番地
 奈良県立医科大学 教育支援課 畝傍山キャンパス事務室 看護学研究科入学試験担当
 TEL 0744 - 29 - 8917
 電話で問い合わせをする場合は、9時から17時までとする。

5. 出願手続

次に記載する(1)の出願書類を提出すること。なお、出願までに予め志望する専攻領域の研究指導教員に事前相談を行うこと。 (P8 [研究指導教員との事前相談] 参照)

(1) 出願書類

出願書類名	注 意 事 項
入学願書・履歴書	本学所定の用紙
写 真 票	本学所定の用紙 出願前3か月以内に撮影した正面上半身無帽無背景(縦4cm×横3cm)の写真(裏面に氏名を記入すること)を貼ること。
受 験 票	本学所定の用紙 はがきとなっている為、735円分の切手(500円、100円、85円、50円切手)を貼り、宛先を明記のこと。
志 望 理 由 書	本学所定の用紙(C) (本研究科への志望動機、志望領域において希望する研究テーマについて) ※出願資格審査で認定された者は、提出を要しない。
成 績 証 明 書	最終出身大学(学部)長等が作成のうえ、厳封したもの。 最終学歴校以外で、看護教育(看護師、保健師、助産師)を受けた者は、上記に加え当該校の成績証明書も併せて提出すること。 ※出願資格審査で認定された者は、提出を要しない。
卒業、修了(見込)証明書	出願資格に該当するもの。 ※出願資格審査で認定された者は、提出を要しない。
入学検定料 30,000円	ATM、ネットバンキングで下記振込先に振込のこと。 振込先 公立大学法人 奈良県立医科大学 南都銀行 橿原支店 普通口座 0266177 (注1) 振込依頼人名には整理番号「NSM」及び「志願者氏名」を必ず入力すること。 (例) NSM イダイタロウ (注2) 振込手数料は志願者本人の負担のこと。 (注3) 振込にあたっては、下記の期間内に振込のこと。 (一次) 令和8年7月16日(木)～7月23日(木) (二次) 令和8年10月16日(金)～10月22日(木) (注4) 振込証明書等を入学検定料納付証明書貼付台紙に貼付け、他の提出書類と一緒に提出のこと。
免許証の写し	看護師、保健師、助産師の資格を有している者は、 A4判にコピーしたものを提出のこと。 ※出願資格審査で認定された者は、提出を要しない。
在留カード又は特別永住者証明書	外国人留学生のみ ※出願時に日本国内に在住しない者は、受験のために有効な査証の写しを提出すること。

入学料免除申請書	該当者のみ。 P8「入学料免除制度」を参照すること。
----------	-------------------------------

社会人入学志願者は、上記書類に加え、次の書類を提出すること。

出願書類名	注 意 事 項
受験及び就学承諾書	在職者は、本学所定の用紙（B-1 または B-2）に所属長が証明したもの。 ※出願資格審査で認定された者は、提出を要しない。

(2) 出願資格の認定

出願資格に定める (8) 又は (9) で出願する者は、事前に出願資格の認定が必要となるので、次のとおり申請すること。

① 申請期間

(一次) 令和 8 年 6 月 18 日 (木) ～ 6 月 23 日 (火)
(二次) 令和 8 年 9 月 24 日 (木) ～ 9 月 30 日 (水)

持参の場合は、9時から17時までとする。

郵送の場合は、封筒表面に「大学院博士前期課程出願資格審査申請書在中」と朱書き明記の上、期間内に書留郵便で大学必着のこと。

② 申請書類

資格審査に必要な書類	作成方法	出願資格			
		(8)	(9)－③		
			ア	イ	ウ
出願資格審査申請書 ・ 履 歴 書	本学所定の用紙（A）	○	○	○	○
成 績 証 明 書	最終出身大学（学部）長等が作成の上、厳封したもの。	○	○	○	○
卒業（修了）証明書	出願資格に該当するもの。	○	○	○	○
免 許 証 の 写 し	看護師、保健師、助産師の資格を有している者は、 A4判にコピーしたもの。	○	○	○	○
在 職 期 間 証 明 書	看護職として通算3年以上の実務経験を有する者（A4縦型、様式任意）		○	○	○
そ の 他 の 証 明 書	研修、認定看護師等、各機関が発行するその資格等を証明する証明書又はコピーしたもの。		○	○	
受験及び就学承諾書	※在職者は、本学所定の用紙（B-1 または B-2）に所属長が証明したもの。	社会人のみ			
志 望 理 由 書	本学所定の用紙（C） （本研究科への志望動機、志望領域において希望する研究テーマについて）	○	○	○	○
研 究 活 動 歴	本学所定の用紙（D） 抄録又は論文のコピーを添付すること。				○

資格審査に必要な書類	作成方法	出願資格			
		(8)	(9)－③		
			ア	イ	ウ
結果通知送付用封筒	出願資格審査結果を通知するための12cm×23.5cm（長形3号）の定形封筒に「簡易書留速達」と朱書し、760円分の切手を貼り、あて先を明記のこと。 ※この封筒は、添付していない。	○	○	○	○

③ 出願資格審査の方法

申請書類により行う。ただし、必要と認められたものについては、口述審査を行う。

④ 出願資格審査の結果通知

出願期間までに資格審査結果を郵送により申請者あて通知する。

提出上の注意

ア 出願に必要な書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付すること。

イ 証明書が現姓と異なる場合は、戸籍抄本等、改姓したことを証明できる書類（出願前3か月以内に交付されたものに限る。）を提出すること。

ウ 必要に応じて、他の書類の提出を求める場合があるので、その場合は速やかに指示に従うこと。

6. 入学者選抜方法

学力検査等の結果及び出願書類等を総合的に判定する。

(1) 入学者選抜方法及び配点

試験日	時間・科目・配点			
(一次) 令和8年 8月24日(月)		9時00分～10時00分	10時30分～12時00分	13時00分～
(二次) 令和8年 12月1日(火)	看護学 コース	英 語 (注) 100点	専門科目 (専攻する領域) 100点	面 接
	助産学 実践 コース		専門科目 200点	

(注) 英語の受験については、試験場へ英語の辞書（英和辞典）1冊の持ち込みを認める。
ただし、電子辞書を除く。

※学力試験または面接試験の結果が一定の水準に達しない場合は、合計得点に関わらず不合格とする。

(2) 試験会場 奈良県立医科大学 畝傍山キャンパス（奈良県橿原市四条町 88 番地）

7. 合格者発表

(一次) 令和 8 年 9 月 8 日 (火) 午後 3 時 (予定)

(二次) 令和 8 年 12 月 8 日 (火) 午後 3 時 (予定)

合格者の受験番号を大学ホームページに掲載するとともに、合格者には合格通知書と入学手続きに必要な書類を発送する。

<https://www.naramed-u.ac.jp/university/nyushijoho/kangogakukenyuka/gokakuhappyou.html>

(注) 可否についての電話等による問い合わせには、一切応じない。

8. 入試結果の開示

公立大学法人奈良県立医科大学における個人情報の取扱いに関する規定に基づき、受験者は個人別入学試験結果を次の要領で開示請求をすることができる。

(1) 対象者：受験者

(2) 開示内容：総合得点、教科別得点

(3) 請求方法：1 来学による請求

(土・日・祝日を除く平日の午前9時～午後5時まで)

受験者本人が本学の受験票を持参すること。

2 郵送による請求

封筒に「入試結果開示希望」と朱書きの上、郵送すること。

(必要書類)

・受験票（開示結果とともに返信用封筒に同封し返却する）

・本人の身分証明証（運転免許証、健康保険証等）の写し

・本人の連絡先（電話番号）を書いたメモ等

・返信用封筒長形3号（あて先記入のこと）

460円切手【簡易書留料350円と切手110円分】を貼付

(郵送先)

〒634-8524

奈良県橿原市四条町88番地

奈良県立医科大学 教育支援課 畝傍山キャンパス事務室

看護学研究科入学試験担当

※電話による問合せには一切応じない。

(4) 期間：(一次) 令和8年9月9日(水)から10月8日(木)まで

(二次) 令和8年12月9日(水)から令和9年1月8日(金)

(5) その他：開示の結果、入学試験の可否について疑義が生じた場合は、受験者本人より問い合わせること。

(6) 問合せ先：奈良県立医科大学 教育支援課 畝傍山キャンパス事務室

看護学研究科入学試験担当

TEL：0744-29-8917

9. 入学手続

入学料を、後日郵送する納入通知書により金融機関窓口で納付し、その納付証明書と(2)の入学手続書類を本人が持参又は郵送により手続すること。なお、手続期間内に入学手続を完了しない者は入学を辞退したものとして取り扱う。また、納入した入学料及び提出書類は返還しない。

(1) 手続日 ※本人が持参の場合

(一次) 令和8年9月14日(月)・16日(水) 午前10時～午後5時

(二次) 令和8年12月14日(月)・15日(火) 午前10時～午後5時

※郵送による手続きの場合

(一次) 令和8年9月9日(水)～16日(水) **午後5時必着**

(二次) 令和8年12月9日(水)～15日(火) **午後5時必着**

(2) 入学手続書類

- | | |
|-------------|--------------------|
| ① 保証人誓約書 | 本学所定の用紙に保証人が連署したもの |
| ② 卒業証明書 | 卒業見込みで受験した者 |
| ③ 免許証の写し | 取得見込みで受験した者 |
| ④ 住所届 | 本学所定のもの。 |
| ⑤ 入学料納入の領収書 | 確認後、返却 |

10. 入学料

282,000円(入学手続きまでに銀行振込)

※要件に該当する者について、入学料を免除する制度がある。詳しくはP8「入学料免除制度」を参照のこと。

11. 授業料

535,800円 2期分納(4月、10月)

(令和8年4月1日現在の金額。ただし、在学中に授業料の改定が行われた場合には、当該改定時から新授業料が適用される。)

※経済的な理由により授業料の納付が困難で、かつ、学業が優秀な学生の修学を支援する制度として、授業料全額又は半額が減免される制度がある。

12. 取得できる資格

看護学専攻を修了した者には、修士(看護学)の学位を授与する。

助産学実践コースにおいては、助産師国家試験の受験資格を得ることができる。

13. 長期履修制度

大学院設置基準15条に基づき、入学後、職業を有する等の事情により、標準修業年限(2年)では大学院の教育課程の履修が困難な者を対象とした制度である。

この制度は、2年間の課程を3年間で履修することができる制度であり、出願時に志望する専門領域の担当教員と相談の上、計画を立て、入学時に申請し、許可された者が対象となる。長期履修学生として認められた場合の授業料は、標準修業年限を超える履修期間について徴収

しない。ただし、助産学実践コースについては、適用されない。

14. 入学料免除制度

看護学コース及び助産学実践コースに入学する者のうち、次のいずれかに該当する者については、入学料を免除する。

ア 奈良県立医科大学卒業後、直ちに本学大学院看護学研究科博士前期課程へ進学する者

イ 看護系大学を卒業した者又は卒業見込みの者で、本人又はその者の配偶者若しくは1親等の親族である者が入学の日（4月1日）の1年前から引き続き奈良県内に住所を有し、経済的支援を必要とする者（注）

ウ 奈良県内看護系大学を卒業した者又は卒業見込みの者で、経済的支援を必要とする者（注）
（注）経済的支援を必要とする者

… 本人及び配偶者の合計収入が、日本学生支援機構の第二種奨学金大学院修士課程貸与の基準額（536万円）以下の者であること。

※入学料免除を希望する者は、申請書を本学に請求し、申請書に必要書類を添えて、出願書類と一緒に出願期間内に提出すること。

1) 申請書の請求方法

・郵送により請求する場合

封筒に「大学院看護学研究科 入学料免除申請書請求」と朱書きし、その封筒に、返信用封筒（角形2号封筒）を同封（郵便番号・住所・氏名を明記して140円切手を貼付）の上、教育支援課 看護学研究科入学試験担当宛に請求する。

・大学の窓口で直接請求する場合

平日9時～17時の間に、畝傍山キャンパス 講義棟1階103号室 教育支援課 畝傍山キャンパス事務室 入試・学生支援係まで請求する。

2) 申請書の提出方法

申請書に必要書類を添付の上、出願書類と一緒に出願期間内に提出すること。

※入学料免除決定者が入学手続き後に入学を辞退した場合は、免除した入学料を速やかに納付しなければならない。

15. 研究指導教員との事前相談

志望コース・領域を選定後、出願前に**必ず**事前相談を行うこと。

事前相談の進め方および主な相談内容

(1) 事前相談について、メールで連絡をする。

奈良県立医科大学大学院看護学研究科博士前期課程 事前相談専用アドレス
nsmaster@naramed-u.ac.jp

(2) メールによる連絡内容は次の通りとする。

件名：【大学院看護学研究科博士前期課程】事前相談

内容：①氏名（ふりがな）

②出身校

（学校名、学科・専攻名、課程〈修業年限〉、卒業〈見込〉年度）

③職歴

④志望する専攻のコース・領域・教員名

⑤研究テーマ

⑥連絡先 ・連絡の取れる電話番号 ・メールアドレス

- (3) 本学より事前相談の日程等について連絡をするので、研究テーマや修学などについて教員と相談する。

諸注意

※事前相談は、直接面談もしくは、メールで行う。

16. その他

- (1) 入学願書用紙等を郵便で請求するときは、返信用として宛名及び郵便番号を明記し、郵便切手（270円）を貼付した角型2号封筒（33cm×24cm）を同封すること。
- (2) 出願書類を郵送するときは、必ず書留とし、封筒に「**大学院看護学研究科博士前期課程 入学願書在中**」と朱書すること。
- (3) 出願手続完了後は、志望領域の変更は認めない。また、出願書類及び入学検定料の返還はしない。
- (4) 出願に関する問い合わせは、教育支援課 看護学研究科入学試験担当宛に電話で行うこと。なお、メールによる質問は受け付けない。

[問い合わせ先] 奈良県立医科大学 教育支援課 畝傍山キャンパス事務室 看護学研究科
入学試験担当

0744 - 29 - 8917

※平日の9時から17時までとする。

専門領域の研究概要

<看護学コース：論文コース>

領域	研究指導教員	講義等の内容
健康科学	太田 豊作	(心と脳の発達学専攻) 人の心の発達を脳科学的な視点と精神心理学的な視点の両方から学習し、その両者の視点を統合させる。
	山内 基雄	(睡眠学専攻) 睡眠時無呼吸症候群をはじめとした多彩な睡眠関連疾患に対する多職種からのアプローチを探索する。加えて、不適切な睡眠が心身に及ぼす悪影響を探求する。
薬理と看護学	松田 明子	医薬品の開発や高齢社会に伴い、患者が服薬する内容は複雑化している。そのため、患者に適切な服薬管理が重要となる。そこで、治療を受けている患者の服薬管理に関する支援方法を検討する目的で、主に医療安全管理や薬理学の視点から探求する。また、それに伴い、看護師の薬理学に関する教育の現状や方法を探求する。
実践基礎看護学	升田 茂章	実践基礎看護学では看護の技に着目し、エビデンスの構築や看護技術の開発とその評価を行い、根拠に基づいた看護技術の普及を目指す。また、最先端技術の看護への適応により看護活動が拡大する中で、根源的な「看護とはなにか」を探求する。
看護実践応用学	石澤 美保子	成人看護学領域で重要と考えられる臨床上的問題点や、ストーマをはじめとした排泄管理学と褥瘡、下腿潰瘍等の創傷管理学の視点から、research question を設定し研究課題を探究する。
成人慢性期・がん看護学	鳥井 美江	自己免疫疾患、難病、がん等の慢性疾患患者や地域住民を対象としたコホート研究を基盤に、PRO を活用した評価および看護介入について探求する。セルフケア・セルフマネジメント支援、フレイル予防、QOL 向上を目指し、包括的な慢性期看護を探求する。
高齢者看護学	澤見 一枝	1. 加齢に伴う生活機能低下や健康問題を抱えながら生活する高齢者に対し、予防的ケアを含む機能レベルに応じた支援を探求する。 2. 高齢期の認知機能低下に対する対策として、新たな科学的知見を導入し、評価を行う。

領 域	研究指導教員	講義等の内容
小児看護学	川上 あずさ	小児看護の重要な概念である、発達と健康と生活を理解したうえで、看護実践の経験をふまえて考察し看護への活用を検討する。小児（子ども）と家族のもっている力（能力）が最大限に発揮できる看護について探求する。
精神看護学	奥田 淳	近年、精神の健康問題をもつ人は早期の地域移行が推進されている。その人たちが地域生活に定着できるように地域支援における課題を明らかにし、リカバリーに基づいた支援、多職種連携支援のあり方を探求する。また、地域で支援を行う看護師へのサポートについても探求する。
公衆衛生看護学	坂東 春美	人びとにおける、健康の保持・増進ならびに疾病の予防に寄与する公衆衛生看護活動を理解し、公衆衛生上の健康課題の明確化・解決や改善のための支援方法・資源開発とシステム化の構築について探求する。
	堀池 諒	GIS（地理情報システム）とオープンデータ等を用い、根拠に基づく保健師活動を探求する。保健医療福祉分野における意思決定を促進し地域全体を健康へと導くため、研究内容を社会実装する取り組みも探求する。
在宅看護学	小竹 久実子	在宅看護学では、“What is nursing ?”, “Why ?” というリサーチクエスチョンを重要視している。そのうえで、概念の明確化、ケアの在り方について探究する。システムティックレビュー、分析方法、APA に基づく論文作成方法についても学ぶ。
女性健康 ・助産学	五十嵐 稔子	(女性健康学専攻) リプロダクティブヘルス・ライツの概念を基盤におきながら、プレコンセプションケア、思春期・更年期の課題や性差医療など、女性の生涯を通じた健康について探究する。
	木村 奈緒美	(周産期看護学専攻) 周産期の看護および助産学について科学的根拠に基づいて学び、変化する時代にそったケアの在り方を探求する。また、Midwife（女性とともに）の言葉の原点である出産の際に寄りそうことの意味を探究し、成長し続ける助産師を育成する。

<看護学コース：高度実践コース>

領 域	研究指導教員	講義等の内容
クリティカル ケア看護分野	石澤 美保子	クリティカルな状況にある患者・家族の心身の健康問題や倫理的課題を探究します。急性期における患者の生命の維持・回復、セルフケア能力の評価やQOLの向上のための知識や看護技術を専門的に実践できる能力を育成します。また、それぞれのフィールドにおけるクリティカルな状況の患者・家族を捉えた課題研究を遂行できる能力の修得を目指します。
がん看護分野	鳥井 美江	がん患者および家族に対する高度実践看護について探究する。症状マネジメント、意思決定支援、倫理調整、セルフケア支援を通して、QOL向上を目指した専門的実践能力を育成する。また、多職種連携を推進し、看護実践の質向上に貢献できるがん看護専門看護師（CNS）としての能力を探究する。
周麻酔期看護師 教育課程	川口 昌彦	周術期、集中治療、疼痛管理などの周麻酔期管理における、医療の質、医療安全、アウトカムの向上を目的とした患者管理を探究する。疼痛緩和、合併症予防、患者満足度の向上、早期回復、生活機能の維持などを指標とした研究を行う。

<助産学実践コース>

領 域	研究指導教員	講義等の内容
女性健康 ・助産学	五十嵐 稔子	(女性健康学専攻) リプロダクティブヘルス・ライツの概念を基盤におきながら、女性特有の疾患への看護のみならず、思春期・更年期の課題や性差医療など、女性の生涯を通じた健康について学び、探究する。
	木村 奈緒美	(周産期看護学専攻) 周産期の看護および助産学について科学的根拠に基づいて学び、変化する時代にそったケアの在り方を探究する。また、Midwife（女性とともに）の言葉の原点である出産の際に寄りそうことの意味を探究し、成長し続ける助産師を育成する。

別表 看護学研究科博士前期課程の教育課程

区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		時間 数	頁	修了要件履修単位
			必修	選択			
共通科目	看護研究方法論 ●	1前	2		30		【論文コース・助産学実践コース】 必修科目：4単位 選択科目：6単位以上 【高度実践コース】 ●印の科目14単位が必修
	看護理論 ●	1前	2		30		
	英文講読	1前		2	30		
	看護倫理学 ●	1前		2	30		
	看護情報学	1後		2	30		
	精神保健学	1後		2	30		
	家族看護学	1後		2	30		
	看護管理論 ●	1前		2	30		
	アドバンストフィジカルアセスメント ●	1前		2	30		
	地域医療学	1後		2	30		
	病態生理学 ●	1前		2	30		
	臨床薬理学 ●	1後		2	30		
	医の共通科目	1前		1	15		
	衛生社会医学	1前		1	15		
論文コース 専門科目	心と脳の発達学特論	1前		2	30		【論文コース】 必須の専門科目：14単位 選択専門科目：6単位以上
	心と脳の発達学演習	1通		4	120		
	心と脳の発達学特別研究	2通		8	240		
	睡眠学特論	1前		2	30		
	睡眠学演習	1通		4	120		
	睡眠学特別研究	2通		8	240		
	薬理と看護学特論	1前		2	30		
	薬理と看護学演習	1通		4	120		
	薬理と看護学特別研究	2通		8	240		
	実践基礎看護学特論	1前		2	30		
	実践基礎看護学演習	1通		4	120		
	実践基礎看護学特別研究	2通		8	240		
	看護実践応用学特論	1前		2	30		
	看護実践応用学演習	1通		4	120		
	看護実践応用学特別研究	2通		8	240		
	がん看護学特論	1前		2	30		
	がん看護学演習Ⅲ	1通		4	120	-	
	がん看護学特別研究	2通		8	240	-	
	高齢者看護学特論	1前		2	30		
	高齢者看護学演習	1通		4	120		
	高齢者看護学特別研究	2通		8	240		
	小児看護学特論	1前		2	30		
	小児看護学演習	1通		4	120		
	小児看護学特別研究	2通		8	240		
	女性健康学特論	1前		2	30		
	女性健康学演習	1通		4	120		
	女性健康学特別研究	2通		8	240		
	周産期看護学特論	1前		2	30		
	周産期看護学演習	1通		4	120		
	周産期看護学特別研究	2通		8	240		

区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		時間 数	頁	修了要件履修単位
			必修	選択			
論文コース	専門科目	精神看護学特論	1前		2	30	【論文コース】 必須の専門科目：14単位 選択専門科目：6単位以上
		精神看護学演習	1通		4	120	
		精神看護学特別研究	2通		8	240	
		在宅看護学特論	1前		2	30	
		在宅看護学演習	1通		4	120	
		在宅看護学特別研究	2通		8	240	
		公衆衛生看護学特論	1前		2	30	
		公衆衛生看護学演習	1通		4	120	
		公衆衛生看護学特別研究	2通		8	240	
高度実践コース	クリティカルケア看護分野	急性病態治療学	1前		2	30	【高度実践看護師教育課程】 ＜クリティカルケア看護分野＞ 必須の専門科目：26単位
		急性看護学特論	1前		2	30	
		急性看護学援助特論Ⅰ	1後		2	30	
		急性看護学援助特論Ⅱ（治療管理）	1通		2	30	
		急性看護学演習Ⅰ	1通		2	60	
		急性看護学演習Ⅱ	1通		2	60	
		急性看護学演習Ⅲ	2前		2	60	
		急性看護学実習Ⅰ	1後		2	90	
		急性看護学実習Ⅱ	2通		2	90	
		急性看護学実習Ⅲ	2通		2	90	
		急性看護学実習Ⅳ	2通		4	180	
	急性看護学課題研究	2通		2	60		
	がん看護分野	がん病態治療学	1前		2	30	【高度実践看護師教育課程】 ＜がん看護分野＞ 必須の専門科目：26単位
		がん看護学特論	1前		2	30	
		がん看護学援助特論Ⅰ	1後		2	30	
		がん看護学援助特論Ⅱ	1後		2	30	
		がん看護学援助特論Ⅲ	1後		2	30	
		がん看護学演習Ⅰ	1前		2	60	
		がん看護学演習Ⅱ	1後		2	60	
		がん看護学実習Ⅰ	1後		2	90	
		がん看護学実習Ⅱ	2通		2	90	
		がん看護学実習Ⅲ	2通		2	90	
がん看護学実習Ⅳ		2通		2	90		
がん看護学実習Ⅴ	2通		2	90			
がん看護学課題研究	2通		2	60			
高度実践コース	周麻酔期看護師教育課程	周麻酔期看護学特論Ⅰ	1前		2	30	【周麻酔期看護師教育課程】 必須の専門科目：32単位
		周麻酔期看護学特論Ⅱ	1前		2	30	
		周麻酔期看護学特論Ⅲ	1後		2	30	
		周麻酔期看護学特論Ⅳ	1後		2	30	
		周麻酔期看護学演習Ⅰ	1前		2	60	
		周麻酔期看護学演習Ⅱ	1後		2	60	
		周麻酔期看護学実習Ⅰ	1後		4	180	
		周麻酔期看護学実習Ⅱ	2前		6	270	
		周麻酔期看護学実習Ⅲ	2前		6	270	
		周麻酔期看護学課題研究	2通		4	120	

区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		時間 数	頁	修了要件履修単位
			必修	選択			
助産学実践コース	専門科目	女性健康学特論	1前	2	30		【助産学実践コース】 必須の専門科目：10単位 選択専門科目：6単位以上 助産学実践科目：35単位
	女性健康学演習	1通	4	120			
	女性健康学課題研究	2通	4	120			
	周産期看護学特論	1前	2	30			
	周産期看護学演習	1通	4	120			
	周産期看護学課題研究	2通	4	120			
	助産学実践科目	助産学特論Ⅰ-助産学概論-	1前	2	30		
	助産学特論Ⅱ-基礎助産学-	1前	2	30			
	助産学特論Ⅲ-胎児新生児学-	1前	1	15			
	助産学特論Ⅳ-健康教育-	1前	1	15			
	助産学特論Ⅴ-地域母子保健1-	1前	1	15			
	助産学特論Ⅵ-助産管理-	1前	2	30			
	助産学特論Ⅶ-地域母子保健2-	2後	1	15			
	助産診断・技術学演習Ⅰ-妊娠期-	1前	2	60			
	助産診断・技術学演習Ⅱ-分娩期-	1前	3	90			
	助産診断・技術学演習Ⅲ-産褥・新生児期-	1前	2	60			
	助産診断・技術学演習Ⅳ-ハイリスク-	1前	3	90			
	助産学実習Ⅰ-基礎-	1前	1	45			
	助産学実習Ⅱ-病院-	1後	9	405			
	助産学実習Ⅲ-ハイリスク-	1後	2	90			
助産学実習Ⅳ-保健指導-	1後	1	45				
助産学実習Ⅴ-助産所-	2前	2	90				
学位又は称号：修士（看護学）			学位又は学科の分野：保健衛生学関係				
修了要件及び履修方法							
<p>本大学院に2年以上（優れた研究業績を上げた者については、1年以上）在学し、授業科目について、論文コースにあつては30単位以上、高度実践コースの高度実践看護師教育課程にあつては40単位以上、周産期看護師教育課程にあつては46単位以上修得し、かつ、修士論文又は課題研究成果物を提出し、その審査及び最終試験に合格しなければならない。</p> <p>助産学実践コースは、61単位以上修得し、かつ、課題研究成果物を提出し、その審査及び最終試験に合格しなければならない。</p>						1学年の学期区分	2期
						1学期の授業期間	15週
						1時限の授業時間	90分

奈良県立医科大学大学院看護学研究科（博士前期課程）入学志願書
（第 次）

		受験番号	※
ふりがな			
志願者氏名			
生年月日	西暦 年 月 日生 歳（2027年4月1日現在）	性別	
出願資格	大学	大学 学部 学科 年 月 卒業（修了）・卒業（修了）見込	
	その他	出願資格 <input type="checkbox"/> (8) <input type="checkbox"/> (9) - ③ア <input type="checkbox"/> (9) - ③イ <input type="checkbox"/> (9) - ③ウ 短期大学 専修学校（専門課程） 専攻 コース 年 月 卒業（修了）	
免許・資格	免許・資格 取得年月 番号	免許・資格 取得年月 番号	免許・資格 取得年月 番号
	免許・資格 取得年月 番号	免許・資格 取得年月 番号	免許・資格 取得年月 番号
志望するコース の領域又は課程 （括弧内に記入）	看護学コース	論文コース（ ）領域 高度実践コース（ ）課程	助産学実践コース（ ）領域
連絡先 （合格通知先）	〒 TEL		
その他の 連絡先	ふりがな		
	氏名		
住所	〒 TEL		
他大学院の 併願状況	大学院 研究科 ※記載内容について、合否に影響を与えるものではありません		
貴学大学院看護学研究科（博士前期課程）に入学を志望しますので所定の書類を添えて 提出いたします。 年 月 日			
奈良県立医科大学長 殿		志願者氏名	印

※欄は記入しない

500 円切手	100 円切手	速 達
85 円切手	50 円切手	郵便はがき

（住所）〒

簡
易
書
留

（氏名） 様

<差出人>

〒634-8524

奈良県橿原市四条町 88

奈良県立医科大学教育支援課

畝傍山キャンパス事務室

看護学研究科入試担当

奈良県立医科大学大学院看護学研究科
博士前期課程
（第 次）
写 真 票

受験番号	※
ふりがな	
氏 名	
写 真 （縦 4.0× 横 3.0cm） ○正面・上半身・無帽・ 無背景・単身で出願前 3か月以内に撮影した もの。 ○写真の裏面に必ず氏名 を明記すること。 ○写真の裏面全体にのり 付けすること。	

※は記入しない

奈良県立医科大学大学院
看護学研究科博士前期課程
(第 次)

受験票

受験番号	※
ふりがな	
氏名	
志望領域	
外国語	英語
この票を受験中は必ず机上に置くこと	

※は記入しない

本はがきが届いた後に以下のQRコードから受験者心得
のページを必ず確認をすること



履 歴 書

本籍	都道府県		
現住所			
氏名	西暦 年 月 日生		
生年月日			
区分	年 月	記載事項	
学歴	年 月	高等学校卒業	
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
職歴	年 月～ 年 月	在職期間 年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
賞罰			
上記の通り相違ありません			
年 月 日			
氏名			印

奈良県立医科大学大学院看護学研究科（博士前期課程）出願資格審査申請書

		番 号		※	
ふりがな					
申請者氏名					
生 年 月 日		西暦 年 月 日生		性 別	
		歳（2027年4月1日現在）			
出 願 資 格 <input type="checkbox"/> (8) <input type="checkbox"/> (9)ー③ア <input type="checkbox"/> (9)ー③イ <input type="checkbox"/> (9)ー③ウ 該当するものを チェックすること。 募集要項P1, 2 「2.出願資格」参照		学 歴		専 攻 コース	
		専修学校（専門課程）		年 月 卒業（修了）	
		その他			
免 許 ・ 資 格		免許・資格 取得年月 番号		免許・資格 取得年月 番号	
		免許・資格 取得年月 番号		免許・資格 取得年月 番号	
志望するコース の領域又は課程 (括弧内に記入)		看 護 学 コー ス		論文コース () 領域	
				高度実践コース () 課程	
		助産学実践コース		() 領域	
連 絡 先		〒 TEL			
その 他の 連絡 先	ふりがな				
	氏 名				
	住 所		〒 TEL		
貴学大学院看護学研究科の出願資格審査について、所定の書類を添えて申請いたします。					
奈良県立医科大学長 殿					
出願者氏名				印	
年 月 日					

※欄は記入しない

履 歴 書

本 籍	都 道 府 県		
現 住 所			
氏 名 生 年 月 日	西 曆 年 月 日生		
区 分	年 月	記 載 事 項	
学 歴	年 月	高等学校卒業	
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
職 歴	年 月～ 年 月	在職期間 年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
賞 罰			
上記の通り相違ありません			
年 月 日			
氏 名			印

受験及び就学承諾書

氏名

生年月日 年 月 日

上記の者が、令和9年度奈良県立医科大学大学院看護学研究科（博士前期課程）の入学試験を受験することを承諾します。

なお、本人が貴大学院看護学研究科（博士前期課程）に社会人大学院生として入学した場合は、在職のまま就学することを承諾します。

令和 年 月 日

奈良県立医科大学長 殿

所在地

機関名

所属長（職・氏名）

印

受験及び就学承諾書

承認印	
-----	--

氏名

生年月日 年 月 日

上記の者が、令和9年度奈良県立医科大学大学院看護学研究科（博士前期課程）の入学試験を受験することを承諾します。

なお、本人が貴大学院看護学研究科（博士前期課程）に社会人大学院生として入学した場合は、在職のまま就学することを承諾します。

令和 年 月 日

奈良県立医科大学長 殿

所在地 奈良県橿原市四条町 840 番地

機関名 奈良県立医科大学

所属長（職・氏名）

印

(注) 承認印欄：受験者が大学の教職員にあっては医学部長、附属病院職員にあっては病院長とします。

志望理由書

氏名		奈良県立医科大学大学院看護学研究科（博士前期課程）

注：本様式に直接記入するか、本様式（A4版）に準じてパソコン等により作成すること。

研究活動歴

氏名	奈良県立医科大学大学院看護学研究科（博士前期課程）
年月	事項

注：1 抄録又は論文のコピーを添付のこと。

注：2 学会及び社会における活動等（各種団体や委員会等の委員）について、団体名、役職名、活動内容（研究発表等を含む）及び期間を年次順に記入すること。

注：3 本様式に直接記入するか、本様式（A4版）に準じてパソコン等により作成すること。

受験番号

※

入学検定料納付証明書貼付台紙

ふりがな
氏名

入学検定料納付証明書貼付欄

こちらに貼付
ください。

注) ・振込証明書等を貼付欄に貼付のこと。

・※印欄は記入しないこと。